

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1880回例会

令和7年12月4日
12:30～13:30



創立40周年

○ソング

- 国歌君が代
- 奉仕の理想

○スマイルBOX

- 藤田龍文会長（本日は大住会員、卓話ありがとうございました。今週末ガバナーエレクト国際協議壮行会、年次総会、クリスマス例会と目白押しですので、多くの皆様の参加をお待ちしております。）
- 運天直人幹事（大住委員長卓話ありがとうございました。次回総会になりますので皆様よろしくお願い致します。）
- 阿部克弘会員（結婚記念のお祝い有難うございました。心より感謝申し上げます。）
- 安部和夫会員（結婚祝ありがとうございました。）
- 村上堅二会員（誕生日のお祝いありがとうございました。来週は年次総会、頑張ってください。）
- 金田昇会員（師走になりました。健康に気をつけて下さい。大住会員卓話ありがとうございました。）
- 宮本多加夫会員（過日11月28日、皇居にて、天皇陛下に賜見して来ました。）
- 山縣栄寿会員（本日も天候に関係なくスマイルさせていただきます。）

【今週の仮メイクアップ会員】

- 11月29日 新会員セミナー

佐藤弘、吉成茂、長克則、齋藤愛、菊地隆博、山縣栄寿、中嶋一貴、十文字宗博、大竹ゆかり、渡辺道直



▶第1880回例会出席状況

(R7年12月4日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	57名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	18名
Ⓘ 全正会員数	75名
Ⓒ ①の出席者数	32名
Ⓓ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓔ ②の出席者数	13名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	45名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	70
① = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	64.2%

本日のプログラム

■会長の時間



藤田龍文会長

皆さん、こんにちは。とうとう雪が降って12月らしくなってきた感じがします。本日も師走のお忙しい中このように沢山例会にご参加いただきましてありがとうございます。本日の例会、会員卓話ということで12月は恒例となります医療福祉月間ということになっておりますので、職業奉仕が医師関係か福祉関係の方ということで、本年は大住由香里さんから会員の卓話をいただくということになっておりますので楽しみにしております。先日、地区の新人セミナーということで、例年新人セミナーはIMの時に、県南分区等で行ってんですが県でまとめてやろうということで、先日郡山のほうで新人セミナーがおこなわれて多くのメンバーの方々がご参加いただきまして、新人セミナー、パスト会長のいろんな経験談だったり、いろいろなロータリーの話長時間聞くんですが、なかなかその時は、わかりづらい部分はあるんですがだんだんロータリーを長く経験していくと、その時あの時のパストガバナーのお話はこんな感じだったんだと後程効いてくる漢方薬みたいなセミナーだと思いますので、是非後程お役に立てていただければと思います。先日、いろいろ新聞毎朝2紙くらい見てるんですが、会員の山縣先生が大学の後援の支部長ということでご活躍ということで、新聞にも民友ですかね大きく出てたり。先々週は宮本先生の褒章とかそういった部分で西ロータリーの会員の会員数が大変多いので、いろいろな部分でロータリー以外でいろいろな職業奉仕、いろいろな部分でご活躍されてということで、大変嬉しく思っております。今月は、この普通の通常例会と来週はもう年次総会ということで、もう次年度のいろいろな部分が皆さんの決裁を受ける時期になってまいりました。ということは、今年度ももう大体半分終わってきたということですので、まだまだ折り返しの部分に近づいてきたということで、更に気を引き締めてやっていきたいと思っております。その他ですね、クリスマス例会があって本年度は例会は終了ということで、クリスマス例会のほうも櫻岡委員長のほうが親睦委員会のほうで大変頑張っていたいただいて、例年70人くらいで多いなという感じだったんですが、今年はですね先程も吉野会員のほうからもうどうしても俺も参加させてくれということでですね、やっと93名。ちょっとホテルどうしようかなと思うんですが、親睦委員長も頭を悩ませてるんですが、まあ嬉しい悩みということで90名を超える参加をいただけるようになりました。まだ、ご都合が不確定の方はですね、まだまだ櫻岡さん渋い顔をしていますけどまだまだ間に合いますので、参加できる方はまた是非参加していただいて、この参加のこういういろんな意気込みをですね、年明け40周年の式典もごございますし、ガバナー年度輩出に向けてのいろいろな地区の行事がもう年明け目白押しで始まってきますので、そういったこの勢いをそのまま今年度末と来年に引き継いでいければと思いますので、引き続き会員の皆様にはご協力をお願いしたいということで、会長の話にさせていただきます。あと今日初めてですね、私もロータリー

リー何年かやってるんですが、初めてSAAの紹介しただけで拍手をいただくという、大変微笑ましいところもありましたので兼子くんも頑張ってSAA努めていただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。

■幹事報告

運天直人幹事

- 白河赤十字奉仕団委員長 安澤莊一：令和7年度「NHK海外たすけあい」キャンペーン実施にかかる街頭募金への協力について
- ふくしまいのち電話理事長 丹羽真一：歳末特別寄付（賛助会費）のお願い
- 日本事務局業務推進室：疾病予防と治療月間リソースのご案内
- 福島報社：年賀「白河企業連合」特集ご協賛のお願い

■各委員会報告

●親睦活動委員会

沼田重一委員

結婚記念日

山縣栄寿会員、阿部克弘会員

誕生日

永野文雄会員、居川孝男会員、村上堅二会員、大竹憂子会員



●雑誌広報渉外委員会

緑川直人副委員長



雑誌広報委員会より、今月『ロータリーの友』の見どころ読みどころを発表させていただきます。まず横書きのほうからで、33ページの下段の左側に米沢中央ロータリークラブさんの「住民発 米沢の魅力発信」ということで記事ありますので皆さんお読みになってください。その次がポリオの症例数なんですけども、変わらず推移しておりますので今後も撲滅の活動のほうにご協力お願いいたします。続きまして、縦書きのほうになります。縦書き2ページのほうで、こちら中村安秀さんですね。安秀さんのほう理事長さんなんですけどもこちらの方の記事載ってまして、こちらは母子手帳というのが日本発祥のものだということが書いてありまして、その日本発祥の母子手帳のほうが世界に広がり始めたきっかけというのが、ケニアで初めての女性の医師のミリアム・ウェレさん、この方というのが日本政府が設立した第1回野口英世アフリカ賞を受賞された方でありました。こちらのほうもどうぞお読みください。

●親睦活動委員会

櫻岡敏之委員長



皆さん、こんにちは。親睦委員会の櫻岡でございます。先程、藤田会長のほうからクリスマス例会について、ちょっとさわりがあったかと思うんですけども、二点ばかり皆さんにお願いでございます。まず一点目が、90名を超える参加者ということで、新白河駅からバスの準備もしておりますけども、当日になるとバスの許容が今のところ5名のバス利用ということなんですけども、5名を乗せるためのバスの大きさになってしまいますので、もしバスを利用する方がいましたら事前に連絡をお願いしたいのが一つ目。二つ目は、12月ということで代行の手配についても平日ということもあって、当日の予約ですとなかなか手配が付かない、あるいは時間かかってしまうという可能性がございますので、もし代行を使うと決まってる方がいらっしゃれば前もって私までご連絡いただければ事前に手配をしておきますので、よろしくお願いしたいというふうに思います。

■本日のプログラム

会員卓話

●プログラム委員会

永山龍太郎委員長



プログラム委員会委員長の永山と申します。よろしくお願いします。本日、疾病予防と治療月間ですが、西ロータリークラブは比較的若い会員も多いということですので、今回大住会員のほうにお願いをした次第でございます。決して介護が必要な人が多いというわけではありませぬので、ご承知おきいただければと思います。よろしくお願いします。それでは、大住会員よろしくお願いします。

●大住由香里会員



皆さん、こんにちは。改めまして、大住由香里です。毎年、12月と4月ぐらいだったかな、年に2回ぐらい医療福祉関係の卓話があるので、最近は必ずなんか声がかかってしまうところで、またお前かよってというような感じになっちゃうのかななんて思いながらも、永山さんからの声がけがありましたのでやらせていただくことになりました。今回は永山さんのほうから若い世代というか、親世代がそろそろ介護、もしかしたら介護が必要になってしまう方もいらっしゃるし、もちろん高齢の方がいるって言うわけじゃなくてです。会員の方に高齢の方が多くとかでは決してないんですけども、私の職業柄介護というところもお伝えできればというところでお話をもらってます。何をお伝えしようかなと思った時に、前回の卓話では基本的な介護保険の話だったとか、施設の種類だったとかそういうものをお伝えしたので、今回は何を話そうかすごく悩んだんですけども、介護のアドバイスとポイントというところで永山さんからあったので、一応前回卓話で聞いたAIのChatGPTに聞いて

みたんです。そしたら、ロータリー向けに40代から70代の介護のアドバイスを卓話したいですって入れたら、もう20分の台本をバーって作ってくれて、それでパワーポイントまでも作ってくれたんですけども、私の中ではどうも面白くないというか、つまらない教科書を読んでいるような卓話になってしまうのかなと思ったので、私は私らしくやっていきたいなという思いで来ました。今日は生活の質が介護必要になったご家族の生活の質が少しでも良くなればなという思いでお伝えできればと思ってます。そしてそれを考えさせてくれたのも先日根本あゆみ会員のご家族の中で葬儀がありまして、そこに今施設に入所されているお父さんを葬儀にも連れていきたいと。一日がかりになってしまうけれども、施設から連れてきたい。だけど、どうやって連れてきていいのかもわからないし、一日来たとしてトイレの行き方もわからない、立ち上がり方もわからない、もちろん車にも乗せられないということで相談を受けて、私が一日車を出して介助しながらお葬式のほうに参加できたというところだったんですけども。ちょっとしたことがわかれば、家族さんも外出だったりとか、生活の質というんですかね。外食だったりとか、そういう所に軽く出かけることができるのかなという思いから、そういうポイントをお伝えできればなと思って来ました。なので、実践的なものでいきたいと思います。今日は後ろのほうに車椅子持ってきたんですけども、それを使ってあゆみちゃんにおばあちゃんになってもらって、ちょっとレクチャーしていけたらなと思いますのでお付き合いください。そして、皆さんにも少しだけ二人組になっていたいて、ちょっと立ち上がり方とか立ち上がる人間の仕組みだったりとか、そういうものがわかればコツがわかるのかなと思うので、体験していただけたらと思います。早速、じゃああゆみちゃんにお願いして車椅子を使ってみたいと思います。あゆみちゃん的には車椅子に乗ったことも触ったこともなかったというところで、車椅子をお出して車に乗せる、荷台に乗せるといった時に小さく畳むということもわからなかったというところなので、ちょっとだけそれは一瞬でわかると思います。この座面があるんですけども、上げるだけで畳めます。



なので、病院とかにも多分こういう状態であると思うんですけども、ここを押せば広がるという形になってます。今はこのアームレストが上がったり下がったり、これが広がったりというので、活動の可動域も増えているのかなと思います。まず立ち上がり、これ皆さん有名な話なんですけれども、立ち上がる時に家族さん立ち上がらせる時に一生懸命立て立てって言って上に皆上げると言うんです

けれども、ちょっと皆さん対面していただければと思います。



今、普通に立ち上がっていただいいていいですか。それを二人一組になっていただいて、少しだけこう指一本です。頭、腕をこう押さえてもらって、あゆみちゃん立ってください。やってみていただけると立てないと思うんです。なので、人って前にいかなないと絶対に立ち上がれないです。なので、車いすに乗せた方を一生懸命立て立てって言って上に持ち上げても絶対上がらない。ポイントがわかると多分ご家族さんが足が痛い、立てないってなった時も、トイレに行くにも何する時も楽に持ち上がらせることができるのかなって思います。おトイレも駄目なのでこれを入れることでだいぶ違うかなと思ってます。なので、トイレに行かれる時も手すりがあるとと思うんですけれども、手すりを付ける際に間違っってほしくないのは、手すりを付ける時はちゃんと変な所には付けないとは思っているんですけれども、自分達でカインズで買った手すりを付けようとする時に、座ったほうに近くに引くと立ち上がれないのでっていうか、真っすぐ上がるようになるので、少し前に付けてもらってこういう引くって動作で前に出れるような形で手すりを付けてあげるとすごく楽になります。人間は立ち上がる時もよいしょで押すらしいです。押すってことで立ち上がったたりできるので、このこう押すということなので横手すりがいいのかなって、私たちの中で。立ち上がるっていうそういう手すりがあればいいのかなって思ってます。そういう状況で立ち上がれたら、車いすにも多分立位がとれる、これで立つことができる方は車にも乗車できます。車椅子だから車に乗れないってことは決してなくて、この間もあゆみちゃんのお父さんを迎えに行き、私の車でいったので車椅子ごと乗せられなかったんですけど、助手席に乗せようとしたらそちらの施設の方が無理ですよ無理ですよって言って、じゃみんなできましようなんて手出してくれたんですけども、私後ろにいますのでって言ってやらせてもらったんですけども、立位がとれたここに助手席の扉を開けた、そしたらここに手をかけてもらう、そんな感じで立ってもら、そしたらドアの手すりとか車のダッシュボードこちら辺にこの手を抑えてもらって、少しでもこうやって立てられれば、引いて片足だけ乗れればお尻がすっと行くので、そうすればもう足がこうやって乗せていけるので、本当にその片足立ちがどうしても施設の方とかは怖いって言うので。見る時不安ってなれば車のサイドに足を引っかけて、お尻座ってもらって椅子みたいに。足を上げることで、ステップに上げる。上げられない時はここに座って

もらう感じで乗っかってよいしょって、それでスライドさせるということで簡単に乗れますので、車椅子になったからって必ず車椅子専用の車両が必要だとか出かけられないとかそんなふうに思わずに外に出てほしいなって思ってます。おトイレなんかも、今ネットで見ると身障者用のトイレが入ってますので、それを見ながらトイレもできますし、軽い状況であればおむつじゃなくてリハビリパンツというパンツを履いてトイレでおしっこしてもらったほうが絶対的にそれこそ簡単ですし、なので家族さんは多分介護する側が戸惑って大変だったりすると、もうそんなに迷惑をかけるなら、大変な思いをさせるなら自分は生きてなくてもいいと必ずそういうふうな悲観的になります。言葉が喋れなかったり、それが怒りに変わる時もあります。その悲しさを怒りで表現する時もあるので、このくそじじいとかくそばあとかって思う時もあるんですけども、それを裏返すと辛い自分をどう表現していいのかっていうところを訴えているということなので、そこが本当に軽く父親や母親に軽く家族がポンってやってあげれば、ああ、いてもいいんだな大丈夫なんだなって思ってもらえるのかなと思います。お洋服の着方とか脱がせ方というのもポイントがありまして、私たちの用語で脱健着患（だっけんちゃっかん）という、脱は脱ぐ脱出の脱、健は健康の健。着が着る。患は患部の患ですね。脱ぐ時は健康なほうから、手を怪我された方とかかわかると思うんですけれども、脱ぐ時は健康なほうから。着る時は患部のほうから、痛いほうから着るというのが鉄則というか、そんな形でやればこの間のお葬式が終わって自宅にお連れして、じゃあ普通の服に着替えて行こうって言った時にも簡単に着替えることができるということで、あゆみちゃん私はできないって言ってたんですけども、そこがポイントかなと思います。ちょっと今日大きめの息子のトレーナーを持ってきたんですけども。あゆみちゃん動けません。ギブスしてます。固まっていますという状況だと、着る時はこうやってかぶせようとしちゃうとどうしてもこう引っかかっちゃったりするので、なので着せる時にこうやって自分の手を前側から通してあゆみちゃんの手を握ってあげると、スルスルスルスって患部も麻痺してる手も守りながら着せてあげることができます。こうやって着せて、頭かぶせて、こっちの手は元気なので自分で手を通して着てもらおうという状況です。脱ぐ時はこっちの手から脱ぐので健康な手から脱ぐので、健康な手。ただ、こっちが麻痺してる時は引っ張るしかできない、引っ張ったりするんですけど、この私たちの左手だけで手伝ってあげればいいので、ちょっと裾を持って引け引け引けって言って手を引いてあげればこうやって抜けるし、頭取ってあげてこれは自分でこうやって取れると思うので、そこからもう自分で麻痺してる方でもこうやって自分でちょっとしたポイントがわかれば、焦らずにスムーズに介護できるのかなと思うので、これは覚えてもらおうと本当に家族さんにも自分達にも負担なくそんな仕事ができる快活生活を続けることができると思います。お風呂もそうです。お風呂も車椅子になっちゃったら、絶対に施設でデイスサービスで入ったりしなきゃいけないと思うんですけども、うちのデイスサービスは普通のユニットバスです。ご自宅で

住まれてる方をお預かりするので、機械とかない状況でお風呂に入るリハビリも兼ねて機械浴は入れてないです。ただ、ずっとそんな状態なので機械浴が必要な方。他の施設で機械浴に入ってる方も、うちのデイサービスでは普通にお風呂に入れる方法を見つけて入っていただいています。なので、全体的に本当に体が丸まったりしない限りは入れると思ってます。なので、そこもお風呂で多分こういうシャワーチェアというものを購入すると思うんです。こういう椅子があるんですけれども、それを浴槽の側にピッタリと付けてあげて、端っこに付けてあげて、足をここに浴槽があるとしたら、座ったままこうやって足を入れることで、別にこうやって跨いで入ることがお風呂ではないので、こうやっていしょって入れてあげて、手すりがあるとしてよっこらしょって入れてあげて、よっこらしょって座れるので、こうやって入れます。別に介護技術がなくても入れます。今日やってみてください、お家で、座って、こうやって。昨日ね、私も一人でやってみたんです。やっぱり不安だなと思って。こうやってこうやって手すりに乗って浴槽乗って、そうするとよっこらしょ、腰をスライドさせるだけで入れる。立ち上がる時も浮力があるので、お尻を上げてもらえれば、それか下に台を少し小さな台を置いてあげることで立ち上がりやすくなります。湯船の中で立ち上げる時一回うちの親、お風呂でこの状態から立ち上がれなくなっちゃって、どないしょって、そういう時どうすればいい。やっぱりさっきみたいに体を起こして、まずは前傾姿勢になってもらうというのが絶対的になってしまうので、そこから力そんなに足の力は必要ないと思うんです、お風呂の中で。自分も入ったほうが安全です。家族なのでね、入ってもらってもいいかと思います。なので、お尻くっつけて上げてもらって、くっつけてスライドするとヘリのほうに浮かぶと思うので。ただ、そういう時ってパニックになるので一回、一回ね落ち着いて、両者が落ち着かないとそして家族が全員で揃って駄目だ危ねえとか言うと、中にいる人がもう余計緊張しちゃって騒いじゃうので一対一が望ましいかなって私は思います。できるっていうふうにもう一回深呼吸をして、できるって言って聞いて、足縮められるみたいな、足付けてるってみたいな感じで入れます。少しだけの動作で絶対に入れると思います。お湯が入っている状況のほうがとても出やすいですし、浮力で上がりやすいかなと思います。協力動作って言って、こっちだけが必至で上げようとしても絶対上がらないので、同意をして、いくよってという同意をして、声をかけて動くことで一緒に成功に繋がる。そこから立つことができれば、そこから立ってもらえるし、立っていただいて本当に足が一步でも上がる方であれば、いしょいしょと入れると思うので。ただ、毎回だと毎日だとそのお風呂の毎日の事なので、そこは介護の施設のデイサービスに行き入って来てねとかそういう事でもいいと思います。ただ、この時期なのでコロナでデイサービスとかが使えない、介護保険が使えないなんていう、閉鎖してしまったなんていう時に、お風呂に絶対入らないといけないう時が去年とかあったので、そういう方のために必ずアドバイスはするようにしています。なので、うちの施設に入職して車椅子の人は必ず機械浴という形で働いてきたので、うちの施設に来てこんなになってるお婆ちゃんがああやって入る姿を見て、入れるんですねっていうふうに驚いた介護職

員もいますので絶対できます。機械浴だけではなくてできるというところをお伝えできればなと思ってます。押す力というのは大事。引くよりも歩行訓練をする時に引いて歩く人はいないと思うんですけど、押して前に押して押して押してって歩くので、押すというのもイメージして歩く時も多分ここをこうやって支えて歩くので、こうやって掴まってるって歩く方はいないと思うので、手すりなんかも考えてる施設さんなんかは手すりも板みたいなふう出てる、こういうふうにこうやって立って歩けるような手すりを付けてる施設さんもありますので、私たちが動いている格好を自分が立ち上がりそうこう想像すれば、どうやって介助すればいいかというのがわかると思います。先程の時も足、多分車椅子の方って伸ばしてると思うんですけれども、一回引いていただいて自分の足でここ引いて前に立ち上がるという動作。足を前にしたまま立ち上がるというのは多分難しいと思うので、引いて立ち上がるという。なのでそうすると、やっぱりきつとみんなに前に前にと言われても無理かなって思っています。その車を車いすのまま乗車したいという希望があゆみちゃんのところであった時に、うちも施設の送迎で使っているの貸せないって言って、一応白河市にも市役所にも軽自動車ですけれども車椅子を乗せられるレンタルしてくれるサービスがあります。車をレンタルさせてくれます。事前に多分申し込みは必要だと思うんですけれど、台数が決まっていますので。そこに申し込みはそういう車を貸してくれますし、車いすも貸してくれるサービスはあります。そこもお金はかからなくてガソリン代だけで貸してくれるという市のサービスもあるので、活用できたらいいのかなと思ってます。ChatGPTさんに聞いた時に、ロータリーさんは地域貢献という言葉がお好きなので、そういう言葉を使って卓話するといいいですよみたいな。地域貢献とは何ぞやと私の中でも考えたんですけれども、そうやって外郭で見ることによって介護保険の保険料ってというのが格段に考えることができます。施設などではないんですけれども、施設に入ると介護保険料が30万毎月施設に払うとしたら、3万円は自分で1割負担で3万円は自己負担になるんです。その他の27万円は税金で賄われているという状況です。市と国で何割何割で27万円を施設さんに払ってくれるんですけれども、その27万円の税金が毎月一つの施設で100人いたとしたら2,700万の税金が一つの施設さんに入るという状況なので、これを在宅で生活すればフルでサービスを使っただとしても4万円位になるので、市が負担するのは少なくなったりするので、地域貢献というのはそういう意味もあって、市役所の卓話とか講演とかでも言うてくることがあるんですけれども、そうやって在宅で生活する地域ケア、地域包括システムというんですかね。そういうものがあって、在宅で生活を守りましょうよという部分で介護保険料を確認していきましょうという動きにもありますので、どうぞロータリーの皆さんも地域貢献に協力していただけたらなと思ってます。私、施設が絶対駄目って言うてはじゃなくて、施設は本当にありがたいことで私も働きながら多分父親母親がそうになったら施設にもお願いすることはあるのかなとは思いますが、その手前、施設に行く前にご家族さんも私たち家族も心が折れてしまわないようなサポートを少しでもできたらなと思ってお伝えしております。本当に付き合いや介護

していると、施設に自分が作った家を捨てて、自分が建てた家を捨てて施設に行くっていう決断をするっていうのは本当に辛いことだと思うので、大丈夫だよって見送っていただけるようにその手前、家にいる間は全力で軽い気持ちでサポートしてあげてほしいなと思います。施設に行かれるほとんどの皆さんは自分から自分は施設に行くって喜んで行く方は絶対にいないと思ってます。大半の方が子供のために家族のために、じゃあ世話にはなれないな、じゃあ自分のできる子供孝行は最後はこれだなんていってきつと施設に行かれる方がほとんどだと思います。その思いをしっかりと私達子供世代は受け止めて送り出してあげられるように、介護のちょっとしたポイントの部分覚えていただけたらと思います。こんな形ですけれども、何かありましたらいつでもご相談できると思いますので、いつでも声かけていただけたらと思います。今日はありがとうございました。

●金田昇ガバナーエレクト



皆さん、こんにちは。時間調整役のガバナーエレクトの金田です。ありがとうございました。今年ですね、GELSって言ってガバナーエレクトセミナーですか、いろんなセミナー沢山受けてきました。今日の大住セミナーが一番楽しかったです。為になります。ありがとうございました。地区の社会奉仕の在り方というのをもう少しそういうものも含めてですね、時代に合った地域に合ったロータリーの奉仕の在り方というのを青少年とか、あとはそういうところにばかりこう目が行くんですけど、こういう高齢化社会における社会奉仕の在り方についてもちょっと検討を重ねられるヒントをいただけたかなと思ってます。次年度、そんなふうなこともやってみたいなというふうに思える卓話でした。ありがとうございました。そういった会長からもお話ありました先週、新会員セミナーを地区で初めて行いました。非常に有意義で参加された方沢山いらっしゃったんですね。白河西クラブが一番多くてですね、10名程の参加になりました。地区ではですね、3年未満の新会員セミナーの対象者が500名います。3年以内に500名入ってるんですけども、今回100名ちょっとの参加をいただきました。非常に有効だったなと、もし地区で自分のクラブ以外、分区以外の方達と名刺を交換したり懇談するということで、またロータリーに入った良さというのを感じていただけたのかなと思います。次年度やるかやらないかは、また地区の方達と相談しながらやっていきたいと思いますが、白河西クラブの存在感というのを非常に感じた、皆さんにお褒めいただきました。白河西クラブすごいねっていうふうなことで、感謝の言葉も沢山いただきましたし、本当にありがとうございました。また、今週末土曜日に国際協議会壮行会ということで、私が国際協議会に行くということで地区内の皆さん集まっていたいで壮行会を開催させていただきます。クラブからも沢山のメンバーの方が郡山の地まで行ってですね、壮行会に参加されることに関して感謝申し上げますと同時に足元が悪く今この寒い時期ですので、お気を付けていらしていただけたらなというふうに思います。運営をしていただい

る吉野委員長をはじめ皆さんに大変お世話になります。あと一つ、ちょっと気になることがありましてですね、先週2820地区、隣の茨城県の私と同じ同期のガバナーエレクトがお亡くなりになりました。年齢が77歳なので、まあ高齢といえば高齢なんですけど私と4つしか変わらないんですけどお亡くなりになりました。とても残念な思いで、34人のうち一人がもう欠けてしまったということです。今年度、泉田ガバナーの年度は今年の1月にお一人亡くなって、先週埼玉北西部の地区のガバナーが急逝なされました。その中で皆で話したんですけども、ガバナー、ガバナーエレクトのスケジュールとか、あとはその負担の大きさというものすごいんだなということと同時に、ロータリーのいろんな活動をもっと簡略化したり、簡単にもっと肩から力を抜いて参加できるようなロータリー活動を目指すべきではないかなという意見が出てました。これからですね、同期のガバナー達34名いるんですけど、そういう方達と一緒にお話をしながら大胆に簡素化するところ。それから皆さんに負担かけなくても済むところ。また、自分達も健康管理ができて楽しめるような、そんなふうな一年間を目指して作ってきたいなということを感じた一週間でした。時間調整ですので、つまらない話になりましたけど、これからまた12月になりますと次年度体制ということで、組織づくりとかいろんな事で実行委員会の皆様とか、地区役員に沢山の方が参加されるんですけどお世話になります。そろそろスタートですので、是非よろしくお願ひしたいと思います。師走になります。ご健康に気を付けてですね、一か月過ぎますように。また、次週のクリスマス例会楽しみにしております。ありがとうございました。

●スマイル報告

山縣栄寿委員長



それでは、スマイル報告する前にまだちょっと時間あるようなので、会長さんからも最初お話あってびっくりしたんですけども、私、仙台大学体育学部卒業なんです。で、新聞社にやっぱ売り込まなくちゃいけないんで、民友新聞にも売り込みましたし、あと本日民報新聞もし取ってらっしゃるんであればですね、13面のワイドというところに出てます。もし、3歩歩いて忘れなければですよ。民報新聞取ってれば見てください。それが11月29日にやったんですけど先週ちょっと大変でして、私こう見えてここで喋ってますけどまだロータリーに入って1年と11か月しか経ってなくて、新人研修出たんです。郡山ビューホテルで新人研修1時からあって、その日は仙台大学の総会と懇親会をビューホテルアネックスで5時からやるよう計画してましたので。そちらのほうの最初研修に出て、すぐビューホテルアネックスに行ってやったんですけども、なかなか人を集めるの大変です。うちの大学も福島県で卒業生が1300人ぐらいいるんですけども、来たのは大体50人くらいで、その案内も出すのやっぱり大変ですね、やっぱりね。それと皆さん、実はこれ教えときます。聖光学院の野球部の斎藤智也監督、仙台大学卒業なんです。来ていただいて、おおいにも盛り上がって楽しかったです。